

## 【原子力ワンプoint】 広く利用されている放射線

### (134)放射線の健康影響－東京都民と福島県民で認識にズレ（その1）

JR 東日本は 2018 年 12 月 4 日、「山手線の新駅名は高輪ゲートウェイ」と発表、国内はその話題でもちきりです。そういえば、三菱総合研究所が昨年の秋、「東京五輪を迎えるにあたり、福島県の復興状況や放射線の健康影響に対する認識をあらためて確かにする必要がある」と題した、レポートを公開していました。東京都民 1000 人、福島県民 500 人にアンケートした結果です。一体どんな内容だったのでしょうか。興味深いので探ってみましょう。

**ゆりちゃん：**三菱総合研究所（三菱総研）のアンケート調査っていったい、東京五輪とどんな関係があるの？

**タクさん：**三菱総研は、「東日本大震災から 6 年を経て、2020 年開催の東京オリンピック・パラリンピック（以下、東京 2020 大会）が残り 3 年に迫っている。東京 2020 大会は『復興五輪』とも呼ばれ、東日本大震災および東京電力福島第一原子力発電所からの復興の姿を、国内外に発信することが大きな目的の一つとされる。2020 年は、震災から 10 年目の節目にもあたり、復興ぶりを世界にアピールする絶好の機会である。開催の中心となる東京には、東日本大震災および原発事故からの復興の姿を発信する役割も期待される。それには、『復興の現状や放射線の健康影響』を東京都民がしっかり理解していることが重要である」と説明しています。本コラムでは、三菱総研が行ったアンケートの結果に基づいて主に、都民の「放射線の健康影響に対する今の認識」を探ってみましょう。

**ゆりちゃん：**三菱総研のアンケート調査は、いつ、どこで、どのように行われたの？

**タクさん：**調査の概要は次の通りです。①調査期間は、2017 年 8 月 9 日～17 日、②調査地域（回答数）は、東京都（1000 サンプル）福島県（500 サンプル）、③調査対象は、20～69 歳の男女、④調査方法は、インターネットアンケート、です。

**ゆりちゃん：**アンケート調査の結果はどうだったの？

**タクさん：**三菱総研は、都民の意識の現状を調べるために、「①都民の復興状況の理解、震災への意識、関心について、②福島県の状況についての情報をよく見聞きした時期、③福島県産食品についての意識、④食品の検査に関する知識、⑤福島県への旅行についての意識、⑥放射線による健康影響について」という、6 つの質問をしました。今回は、①と⑥の質問に的を絞って考えてみます。最初に図 1 を見て下さい。質問①の回答結果です。左側の図は、「福島県内の現状を、東京都民は正しく理解していると思うか？」と聞いた結果です。ゆりちゃんもわかると思うけど、「正しく理解していると思う人（『そう思う』『ややそう思う』の合計）」は、全体のわずかに 1 割以下（6.8%）でした。また、右側の図は、「原発事故から 6 年が経過し、東京都民の震災に対する意識や関心が薄れていると思うか？」と聞いた結果です。同図から、「そのように思う人（『そう思う』『ややそう思う』の合計）」は、半数以上（59.0%）でした。三菱総研のレポートには、「福島県の現状理解が十分でないと感じつつも、震災に対する意識や関心そのものが薄れている現状を、東京都民もある程度自覚している姿がうかがえる」、と所感が記述されています。

**ゆりちゃん：**それでは、質問⑥「放射線による健康影響について」の回答結果はどうだったの？

**タクさん：**図 2 を見て下さい。「現在の放射線被ばくで、後年に生じる健康障害（例えば、がんの症状など）が福島県の方々にどのくらい起こると思いますか？」、また、「現在の放射線被ばくで、次世代以降の人（将来生まれてくる自分の子や孫等）への健康影響が福島県の方々にどのくらい起こると思いますか？」、という 2 つの質問に対する回答結果です。どちらの質問に対しても、「約半数の都民が、発生する可能性は高い」と回答していました。私はこれらの結果を見て驚いてしまいました。

**ゆりちゃん：**タクさんどうして？放射線による健康影響の調査結果に驚いたの？

**タクさん：**実は、原子放射線の影響に関する国連科学委員会（UNSCEAR）は、2013 年に「東日本大震災後の原子力事故による放射線被ばくのレベルと影響に関する初めての報告書」を作成、その後も毎年、最新のデータ・情報を取り入れて改訂版（白書

という)を公表しています。その最新の白書(2017年版)で、「事故によって『白血病または乳がん(最も放射線に誘発されやすい2種のがん)の発生率が、識別可能なレベルで上昇することはない』と予測されている。また、被ばくした人の『子孫における遺伝性疾患の識別可能な増加は予測されない』と結論付けています。三菱総研のレポートには、「現在の世代だけでなく次世代にも影響があると(アンケートに調査に協力いただいた東京都民の)過半数の人々が考えている現状は、福島県民に対する誤った先入観や偏見を生み出す可能性も否定できない」と所感が記述されています。

ゆりちゃん：福島県民の方々は、「放射線による健康影響について」どのように感じているの？

タクさん：大事な質問ですね。実は、福島県でも2011年度から1年ごとに同じようなアンケート調査「こころの健康度・生活習慣に関する調査」を行っているのです。次回に詳しく説明しましょう。

(人材育成部)

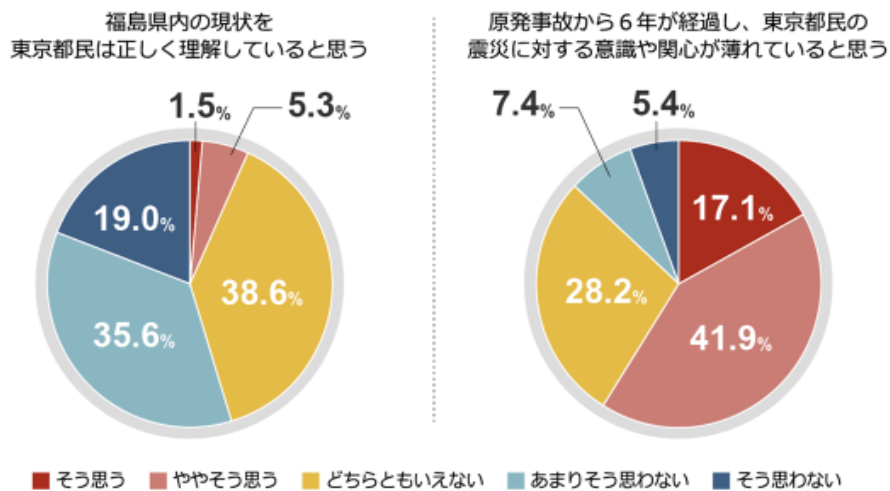


図1. 福島県の現状に対する理解、震災に対する意識、関心について  
([https://www.mri.co.jp/opinion/column/trend/trend\\_20171114.html](https://www.mri.co.jp/opinion/column/trend/trend_20171114.html))

あなたは以下の内容についてどのように思いますか

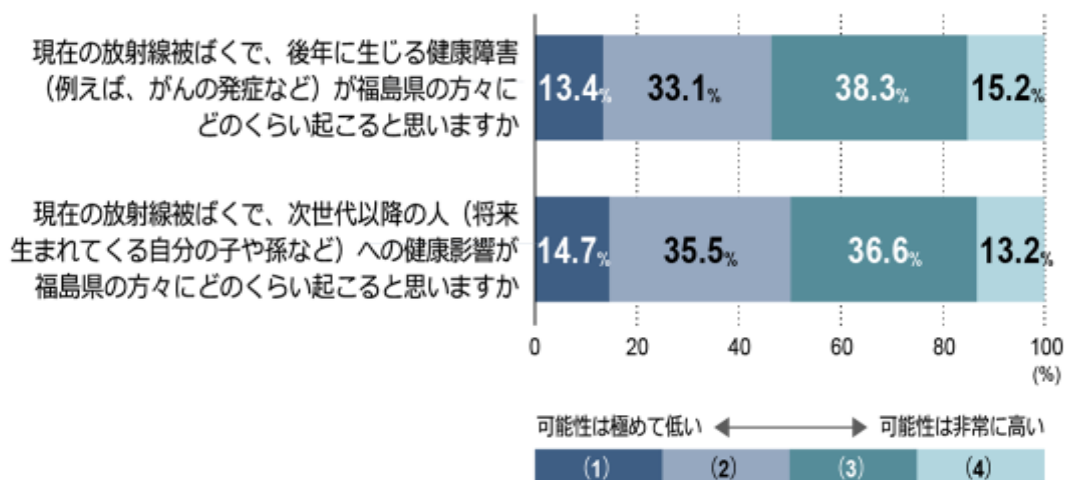


図2. 放射線による健康影響について(東京都)  
([https://www.mri.co.jp/opinion/column/trend/trend\\_20171114.html](https://www.mri.co.jp/opinion/column/trend/trend_20171114.html))